

2016 年 5 月 20 日
SB エナジー株式会社
三井物産株式会社
鳥取米子ソーラーパーク株式会社
株式会社大協組

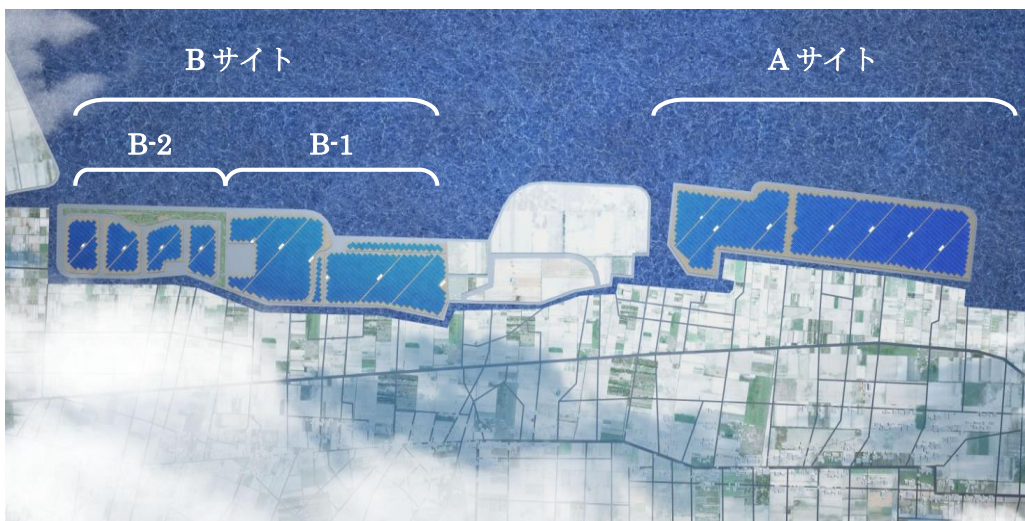
「ソフトバンク鳥取米子ソーラーパーク」での 2016 年度の羊・ヤギによる除草試験の実施について

ソフトバンクグループで自然エネルギー事業などを行う SB エナジー株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：孫 正義）と三井物産株式会社（本社：東京都千代田区、社長：安永 竜夫）が設立した特別目的会社「鳥取米子ソーラーパーク株式会社」と鳥取県米子市で建設業などを行う株式会社大協組（本社：鳥取県米子市、代表取締役：小山 典久）の 4 社は、環境に配慮した活動の一環として「ソフトバンク鳥取米子ソーラーパーク」において、2016 年度の羊とヤギによる除草試験を 5 月 27 日から開始します。

今回の羊とヤギによる除草試験は、「ソフトバンク鳥取米子ソーラーパーク」の「B-2」区域内全体と外周部分を合わせた約 7 万 2,000 m²を対象に、5 月 27 日から 10 月 30 日まで羊 4 頭、ヤギ 2 頭による除草試験を実施します。4 社は 2014 年度から「ソフトバンク鳥取米子ソーラーパーク」で羊とヤギによる除草試験を行っており、一定の除草効果に加えて、エンジン式草刈り機使用時と比較しての CO₂ 排出抑制効果や試験開始前と比べ顕著な集客効果（来館者数）が見られ、地域住民や職場へのセラピー効果などが成果として得られています。2016 年度は発電施設を囲うフェンスに巻き付いて太陽光パネルに影を作るほか、フェンス自体の破損原因となるクズ対策を主な目的として、従来試験で実施してきた発電施設外での除草作業に加えて発電施設内でも羊とヤギの除草試験を行います。マメ科に属するクズは羊・ヤギの好物でもあるため好んで食することが予想され、発電所の発電効率確保や運営面でより実用性の高い除草効果が得られることを期待しています。今回の除草試験では、羊 1 頭に GPS アンテナを装着し、一日の移動距離と行動範囲、ならびに頻繁に滞在する地点などの移動データを採取してエリア内の植生データと照合することで、羊が好んで採食する植物の種類と特徴が試験前の想定と合致するかについても調査します。

SB エナジー、三井物産、鳥取米子ソーラーパークおよび大協組は、今後も環境保全活動を推進します。

■「ソフトバンク鳥取米子ソーラーパーク」写真



<イメージ画像>

■羊



■ヤギ



● SoftBank およびソフトバンクの名称、ロゴは、日本国およびその他の国におけるソフトバンクグループ株式会社の登録商標または商標です。